

辰巳台の人口

人口	11,192人(平均年齢)
男	5,787人(42.5歳)
女	5,405人(45.3歳)
15才未満	1,390人(12.4%)
65才以上	2,502人(22.4%)
世帯数	5,014世帯

2021年9月1日現在

辰巳福祉ネットワーク広報

コスモス

発行(年5回)

発行:辰巳福祉ネットワーク 広報部会

事務局 辰巳ふれあいセンター
(開館) 月・水・金・土 10~15時〒290-0178 市原市神崎263-1
7Fハウス 辰巳彩風苑地下1階
TEL/FAX 0436-75-5116

みんな元気

コロナに負けない

コロナ禍の下、なかなか思い通りの活動が実施できていない状況ですが、辰巳台で活動する各種団体の活動内容をあらためてご紹介します。

辰巳福祉ネットワーク

今、お読みになっているこのコスモス紙を編集発行しているのが「辰巳福祉ネットワーク」です。地域の福祉課題を具体的に解決していく実践的なボランティア団体です。

「会食」「子育て」「いきいき」「地域フレッシュ」「障がい者支援」「見守り支援」「広報」といった部会が、幼児から高齢者までを対象に多岐にわたる活動を行っています。辰巳に集うあらゆる世代のコミュニケーションの場として、その存在意義は益々高まっています。これからのネットワーク活動を支える人材も常に募集しています。



コロナ前は賑やかに会食会

辰巳台地区民生委員

児童委員協議会

厚生労働大臣の推薦を受け千葉県より委嘱された地方公務員に準じる資格を有する組織です。基本の任期は3年で辰巳台地区には24名の民生児童委員と2名の主任児童委員がその任についています。生活上のあらゆる相談窓口として活動しています。困りごとがあれば迷わず一報してください。解決策を探るとともにそのための関係機関へのつな

辰巳台地区社会福祉協議会

辰巳台地区が目指す基本理念である『ずっと住み続けたい福祉のまち・辰巳』を達成するために、辰巳台地区行動計画を策定し、様々な組織・団体や福祉施設と連携・協働し、地域福祉の推進に取り組んでいます。地区社協の事業としては、通いの場「ほっとサロン」、子どもの居場所「トイトイ食堂B」、辰巳台地区地域福祉関係者合同研修会などを行っています。

共催事業として「福祉バザー&福祉祭り」も行っています。

たすけあい辰巳ねこの手

辰巳地区にお住まいで、歳を取った、障がいがある、身体が弱い、妊娠中、子育て中、などで、日々の暮らしの中で出来なくて困っていることを手助けする、有償ボランティア団体です。

庭の草取り、樹木の剪定、部屋の掃除、買物代行、その他生活上の各種困りごとを解決しています。詳しくは電話を。 ☎37-2278



買物代行

辰巳台地区連合町会

本年度1月1日集計で市原市には516の町会組織があり、総町会加入世帯数は7万1814世帯となっています。これが12地区に分かれ、辰巳台地区の面積は最小です。加入世帯数は3001世帯で、12地区中、下から3番目です。加入町会数も31でこじんまりとした組織です。

行政回覧を始めとして、ゴミ処理対応から防災まで生活に密着した地域の要となる組織です。コロナ禍で2年連続中止となっていましたでしたが夏の「盆踊り大会」などを主催、その他、数多くの地域イベントに協力しています。



盆踊りって楽しいね

辰巳台地区社会体育振興会

スポーツを通して地域住民の健康促進の一翼を担う活動をしているのが「体育振興会」です。秋に開催される「市民体育祭」がメイン活動。辰巳台中学校のグラウンドで繰り広げられる様々な競技と町会ごとにテントを張っての応援風景は秋の風物詩となっています。



も主催。また、市原市で行われる様々なスポーツイベントにもスタッフとして振興会メンバーが派遣されています。

市原地区更生保護女性会

辰巳支部

更生保護女性会とは、女性の立場から、地域に於ける犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための支援活動など、できることを無理なく行うボランティア団体です。

会員の親睦を深めるため、体操教室、折り紙教室、観劇の会等があります。

子どもの見守りや環境整備等に密着した地域の要となる組織です。コロナ禍で2年連続中止となっていましたでしたが夏の「盆踊り大会」などを主催、その他、数多くの地域イベントに協力しています。



お喋りしながら小物作り

市原市子育て家庭支援員協議会辰巳台支部

協議会辰巳台支部

市長より委嘱を受け子育て支援活動をしているボランティアです。お子さまが生後4か月を経過するに身分証明書を携帯した支援員が、各家庭を訪問する「乳児家庭全戸訪問」を中心に、子育て家庭からの身近な相談役、地域・行政とをつなぐパイプ役としての活動を行っています。辰巳台支部では現在12名の支援員がその役割を担っています。

また、辰巳福祉ネットワーク子育て部会の一員として「オンライン子育てサロンSUKUSUKU」や辰巳公民館で行われる「親子ふれあいフェスタ・たつみ」、子育ての会「るるん・はいはい」も活動の一環です。

市原市青少年育成

辰巳地区民会議

県および市との連携をとりながら青少年問題の重要性を認識し、その健全育成を図ることを目的に昭和56年に結成されました。市原市では9地区に地区民会議があります。

毎年、教育委員会との共催で「青少年育成推進大会」などを開催すると共に、辰巳地区では小・中・幼・保・PTAと各種団体との連絡調整、情報交換を行い、2年ごとに「青少年健全育成地域福祉標準語」を募集し、選考のうえ看板設置をしています。

通年を通しては学区内の公園の安全(防犯)管理確認活動なども実施しています。

市原交通安全協会辰巳台支部

市原警察署と連携して地域の交通安全、交通事故防止運動を行っているボランティア団体です。主な活動は子どもたちへの交通安全の啓蒙で、学校へ出向いて事故に遭わないようルール教室などを開いています。毎年、毎月10日を交通安全の日(アクション10)とし、年間を通して登校時の事故防止活動を実施中。

また地域の夏祭りや体育祭、福祉バザーなどの時も交通安全に協力しています。

現在、辰巳台支部の交通指導員は不足状態、一緒に活動して頂ける方を募集しています。是非一報を! ☎79-16188 増茂



市原市防犯協会辰巳台支部

連合町会の地域事業の一環

辰巳台支部では現在10名が活動しています。「自分たちのまちは自分たちで守る」をモットーに犯罪の発生にくい雰囲気づくりを実践、毎月1回夕方からのパトロール、夏休み期間は週1回のパトロールを行っています。

巡回には犯罪防止のみならず青少年の非行化防止の目的もあり小中学校PTAの皆さんも参加して頂いています。さらに青パトも活動しています。今後は更なる活動充実のため各町会に1名の「防犯指導員」がいる地域を目標にしています。

辰巳台シニアクラブ

辰巳台地区にお住まいの60歳以上の方々の「交流の場」として平成8年に誕生しました。それから25年、参加されている会員数は270人を超え、様々なサークル活動が行われ、シニア生活の一翼を担っていると自負しています。

残念ながら今はコロナ禍で年間300日位もの活動もほとんどが停止中、身動きが取れません。ワクチン接種や対策が進み一日でも早く平常な生活を取り戻せるように願うばかりです。

この経験を糧にしてより良いシニアクラブにしたいと思っています。



コロナ前に皆で行った出羽三山

辰巳台地区まちづくり協議会

協議会

本会は「みんなであつこう!」きずなの強い 安全・安心な住みよいまち」をスローガンに2008年5月に設立されたボランティア団体です。

普段は公園の除草・清掃、マックスバリュ裏の花壇通りなどの花植え&水やり活動、映画鑑賞会などを行っています。この2年はコロナ禍で開催できていませんが2013年から毎年6月に「ヨペンダーマールシェ」を開催しています。



カッパ池隣の花壇整備

辰巳台神社氏子青年会

辰巳台地区の住民たちの要請を受け、飯香岡八幡宮の別宮として昭和43年11月3日にこの地に祀られたのが「辰巳台神社」。それを祝して毎年11月3日には秋祭りが執り行われています。お神輿が町内を練り歩き神社では祭礼、その賑わいを下支えしているのが氏子青年会です。

現在会員数は15名、元旦祭ももう一つのメイン活動ですが、地域の夏祭りや市民体育祭、福祉祭りなどにも積極的に参加しています。今はコロナ禍で活動が縮小されていますが、常時会員募集中です。是非お力添え下さい。



【次ページに続く】

辰巳台地区 冬の暦

月	日	曜	時間	行 事	会 場
11	3	水		辰巳台神社秋季大祭・神事	辰巳台神社
	3	水	11:00	子育てサロンSUKU SUKU	オンラインイベント
	5	金	10:30	ほんわかサロン	辰巳公民館
	6	土	16:00	子どもの居場所 トイトイ食堂A	光の子幼・センターハウス
	7	日	中止	市内一斉清掃	
	7	日	13:30	よろず相談どころ	辰巳公民館
	10	水	13:00	おしゃべり会	連合町会集会所
	11	木		黄色レシートの日	マックスバリュ
	14	日	10:00	元気かい	辰巳公民館体育室
	14	日	13:00	見守り支援フォローアップ研修	
	19	金	10:30	ほんわかサロン	
12	20	土	16:00	子どもの居場所 トイトイ食堂B	辰巳公民館
	28	日	中止	福祉バザー&福祉祭り	
	30	火	10:30	高齢者会食会 (大蔵・ほか)	
	1	水	11:00	子育てサロンSUKU SUKU	オンラインイベント
	1	水	13:00	おしゃべり会	連合町会集会所
	3	金	10:30	ほんわかサロン	辰巳公民館
	4	土	16:00	子どもの居場所 トイトイ食堂A	光の子幼・センターハウス
	5	日	13:30	よろず相談どころ	辰巳公民館
	11	土		黄色いレシートの日	マックスバリュ
	12	日	10:00	元気かい	辰巳公民館体育室
	17	金	10:30	ほんわかサロン	
1	18	土	16:00	子どもの居場所 トイトイ食堂B	辰巳公民館
	19	日	未定	男の料理	
	24	金	10:30	高齢者会食会 (辰巳台東・西)	
	1	土	0:00	元旦祭	辰巳台神社
	5	水	11:00	子育てサロンSUKU SUKU	オンラインイベント
	7	金	10:30	ほんわかサロン	辰巳公民館
	8	土	16:00	子どもの居場所 トイトイ食堂A	光の子幼・センターハウス
	9	日	11:00	辰巳台地区成人式	辰巳公民館
	11	火		黄色いレシートの日	マックスバリュ
	12	水	13:00	おしゃべり会	連合町会集会所
	15	土	16:00	子どもの居場所 トイトイ食堂B	辰巳公民館
1	16	日	10:00	元気かい	辰巳公民館体育室
	21	金	10:30	ほんわかサロン	
	28	金	10:30	高齢者会食会 (大蔵・ほか)	辰巳公民館

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第では予告なく中止することがあります。問合せ先 ☎75-5116 辰巳ふれあいセンター

幸せの「黄色いレシート」の日

- ・マックスバリュでは、地域のボランティア活動を応援する取り組みをされています。
- ・毎月11日に発行される黄色いレシートを応援したい団体名が書かれた箱に投函して頂くと、レシート総額の1%が各団体に寄贈されます。
- ・辰巳台地区社会福祉協議会の箱も宜しくをお願いします。

コロナにより、昨年に引き続き今年度も福祉バザーは中止になり「歳末たすけあい募金」として実施することになりました。

なお集まりました募金は「地域福祉支援事業費」として使われ、地域の各団体などが年末の福祉支援事業を実施します。皆様のご協力をお願いします。

歳末たすけあい募金にご協力ください

福祉バザー&福祉祭りは中止します

昨年に続き、コロナ感染拡大予防のため、開催を見送ることに致しました。

※町会加入の方
各町会長経由でご案内します。

※町会未加入の方
街頭募金活動を行いますのでお立ち寄りください。

【日時】12月11日(土)
9時~12時
12月12日(日)
10時半~12時

【場所】「せんだう」駐車場

辰巳囃子保存会

辰巳台に「お囃子」を地域の皆様のご尽力により発足した「辰巳囃子保存会」、活動開始から早14年が過ぎました。毎月の練習会を経て、地域の皆様の無病息災を願い、邪気払いとして行うお正月の獅子舞を始め、辰巳台神社秋季大祭やラベンダー・マルシェ等、各種催事の盛り上げ役の一助として活動しています。

踊り、篠笛、大太鼓、小太鼓に興味のある方は気軽に声をかけください。

一緒に楽しみましょう。



辰巳彩風苑

仲間と交流しながら、自由で安心した生活を送りたいと願う方のための、食事付きワシントン・マンションです。

緊急時対応や各種生活相談・助言が自立生活を支え、介護保険の各種サービスも使えます。屋外ステージでのんびり自慢な行事も盛んです。

地域包括支援センターたつみ

高齢者のみなさんが住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、様々な相談をお受けする「総合相談窓口」です。「介護保険サービスを利用するにあたり」「もの忘れがみられるようになり心配」「家族の介護で悩んでいる」「等、心配・不安について一緒に考え解決策を講じています。状況により関係機関と連携して支援につなげていきますので、お気軽にご相談ください(☎75-6663)辰巳病院そば。



西4丁目第2町会

会長 大竹 英二

辰巳台地区の西の端に位置しており、周りは大蔵番地に囲まれています。

企業団地としての辰巳開発が始まって

まもなく、我が町会地帯も整地・団地化された歴史があり、それに伴い町会の組織化も早くから成されました。辰巳台地区の中でも古参町会のひとつです。町会の長老の方々にお聞きしたところ、「もう45年ぐらい経っているよ」とのこと。歴史があるだけに住民には年配者が多く、次を担う若い子育て世代の転入も望まれますが、その分、結束力が高く、地域活動への参加意欲も旺盛で、地区の中でも協力的な町会と自負しています。

特に女性陣の元気さは特筆モノです。

地域が上手くまとまっていくには女性の占める位置は大きく、この町会でも

似たような状況だとは思いますが、町会が関わるほとんどの活動の主導権を握られ、男性陣はその指示に従ってのバックアップ構造が出来上がっています。上手くいく秘訣はここにあります。市民体育祭、市内一斉清掃や防災訓練など奮迅の働きには頭が下がります。最も女性陣がその力を発揮するのが、辰巳台神社「秋祭り」の子ども神輿。当町会が西地区の子ども神輿お屋の休憩所を引き受けていることもあり、前日からの迎え準備は町会挙げてのイベント。豚汁作りから始まり子どもたちの昼食スペースの設置まで大わらわ、当日のお世話も含め女子力なしでは達せられません。

現在加入世帯は96、地域内には町会と自治会の2つの組織があり、町会は地域活動や行政対応、自治会は団地内の整備や問題が起こればその解決等を担当と役



町会集会所

割分けもされています。長らく住まわれている方も多く、向こう三軒両隣の精神が息づいており、問題もほぼ皆無。なにより住民が皆さん明るく謙虚です。

町会ルールとして町会役員等は基本輪番制となっていていますが、近年は高齢化に伴い役員活動が困難な方もおられることもあり、推薦も併用されています。

また、所有する集会所は近隣の町会への貸し出しも行っており、総会などでも利用して頂いています。この集会所では書道教室などの住民活動も行われ使用頻度は高く、貴重な憩いのスペースともなっています。

今後ともこれまで通り、辰巳台地区の町会として、地域には積極的に関わっていきたいと思います。

辰巳地区？ 辰巳台地区？

私たちが住んでいる地区を「辰巳地区」というのか「辰巳台地区」というのか、おやっ！どっち？と思ったことはありませんか。

公共の施設も、辰巳公民館と辰巳台支所と異なっています。福祉関係でも、辰巳台地区社協、辰巳福祉ネットワークとたすけあい辰巳ねこの手です。

そもそもこの地域は、団地造成の前は、大蔵、山木、能満、久々津にまたがる辰巳ヶ原とよばれる畑や林が広がる台地でした。

「辰巳」の由来は定かではありません。一説には、現在の菊間コミュニティセンター西側の台地に、4~5世紀の古墳時代、菊麻(クマ)の国造(クニノミヤツコ)がおかれていて、そこから見て辰巳(東南)の方角に当たるので名付けられたといわれています。

団地の造成は、昭和33年、千葉県が三井不動産、京成電

鉄と共に設立した「財団法人辰巳地区」というのか「辰巳台地区」というのか、おやっ！どっち？と思ったことはありませんか。



「写真アルバム 市原市の昭和」より

また「辰巳台地区」というと、辰巳台東や辰巳台西の住所に限る雰囲気があります。現に毎号1面左上に載せている「辰巳台の人口」は、市役所の統計によるもので、住所が辰巳台東と辰巳台西に登録されている人だけの数です。

「辰巳地区」というと、辰巳団地内の社宅から自宅を建てて移り住んだ人たちが多く、大蔵の一部を含めているように感じられます。現在、辰巳台地区連合町会に大蔵から6町会が加入していることがその現れです。

紛らわしいから、一つに統一してほしい、との意見もありますが、辰巳団地が生まれてから60年余りも続いている混用ですから、一朝一夕に解決するのは難しそうです。皆さんはいかがお考えでしょうか。(F)

